

患者さんへ 独立型整形外科外傷センターにおける重度四肢外傷の救肢率

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2019年4月～2024年1月までに当院 整形外科外傷センターで、初療時に主要血管の再建あるいは皮弁術を要すると考えられた重度四肢外傷患者さん
2 研究目的・方法	<p>当院では、原則として整形外科外傷センターが使用する手術室が設置されており、専属の麻酔科医や手術室スタッフが配置された、「独立型整形外科外傷センター」として四肢の外傷に広く対応しております。</p> <p>本研究では、このような「独立型整形外科外傷センター」の設置によって、四肢の救肢率（四肢を切断せずに治療できる割合）が向上するかを検討することを目的とします。</p> <p>具体的には、重度四肢外傷として、主要血管の再建や皮弁術（皮膚や組織を移植すること）が必要と考えられた患者さんを対象として、治療内容や転帰、救肢率を調査します。</p> <p>研究の期間：施設院長許可（2024年2月予定）後～2024年5月</p>
3 情報の利用拒否	<p>情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。</p>
4 研究に用いる情報の種類	<ul style="list-style-type: none">・ 研究対象者背景（年齢、性別 等）・ 外傷の情報、外傷の外観写真、単純レントゲン・CT 等・ 治療内容（主要血管再建・皮弁術の手技内容、切断の有無 等）・ その後の転帰 等
5 お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 札幌東徳洲会病院 整形外科 外傷センター 伊澤 雄太（研究責任者） 住所：札幌市東区北33条東14丁目3番1号 電話番号：011-722-1110（代表）</p>